

「水稲有機栽培実証事業」

トライアル農地の稲刈を実施

～3年目は1・2年目の課題を克服～

平成23年9月7日
京丹後市役所

市では、平成21年度から3ヶ年事業として、農薬や化学肥料を一切使用しない有機のお米づくりとして「トライアル農地・水稲有機栽培実証事業」を行っており、今年度は、事業の最終年度となっています。

1年目・2年目のトライアル農地の収穫量は、雑草を抑えきれず、収穫したお米は「H21→120kg、H22→150kg」でしたが実証3年目となる今年は、過去2ヶ年の栽培課題であった雑草の初期除草を徹底して行いましたので順調に生育し、稲穂がたわわに実りました。

つきましては、9月21日（水）に最終年度のトライアル農地の稲刈り作業を行います。

稲刈後には、有機JAS認定申請に関する説明や3ヶ年の実証事業の「成果と課題」の検証、収穫したお米の具体的な活用方法等を検討します。

※京丹後市生物多様性を育む農業推進計画で有機JAS認定者10人を目標としています。

(1)日 時：平成23年9月21日(水) 13:00～15:30(予定)

(2)場 所：トライアル農地(京丹後市久美浜町女布家ノ上 1213・1214 番地)

(3)参加者：徳岡邦夫専門委員(京都吉兆総料理長)他アドバイザー3人、
米生産農家、関係機関、京丹後市等



(写真撮影：山口規子)



▲ たわわに実った稲穂の様子
(2011トライアル農地)

稲刈作業のタイムスケジュール

時 間	内 容
12 : 50	(株)エチエ農産ライスセンターに集合
13 : 00	稲刈作業開会式 (主催者開会あいさつ、徳岡専門委員(京都吉兆総料理長)あいさつ、(株)エチエ農産より栽培経過の報告など)
13 : 30	稲刈作業の開始 (徳岡専門委員がコンバインで稲刈りを行い、参加者は、ほ場の一部を手刈作業で行う)
14 : 15	稲刈作業終了
14 : 20	トライアル農地事業 2011 の総括についての意見交換会 (有機 J A S の認定申請についての説明、収穫したお米の活用方法について、有機栽培の課題とポイントの整理等)
15 : 20	トライアル農地事業 2011 の総括についての意見交換会終了
15 : 30	閉会式 (主催者閉会あいさつ)

※ 当日の天候等によりスケジュールを変更することがあります。

稲刈作業の場所 (地図)



2011 の取り組み経過



H23.5 田植え

3ヶ年事業の最終年となるトライアル農地・水稻有機栽培実証事業の田植えを実施。

これまでの2年間の実証結果に基づくと、除草対策が課題となっている。今年は、雑草を抑制することができる米ぬかペレットの散布量を増やし、新たに機械除草も行うなどこれまで以上に除草対策に力を入れていくことを確認した。



H23.6 除草

田植え後に4回のチェーン除草と1回の機械除草を行ったが、ほ場には多くのコナギが繁茂していた。除草作業は、約20人で30分の手除草を行った後、エチエ農産の越江社長が機械除草を行った。

作業後は、多くのコナギが水面に浮き、綺麗に除草できたが、今後も定期的な機械除草や手除草を行っていくことを確認した。

2011 の今後の取り組み

■丹後産コシヒカリ新米PR試食会&販売

日時：平成23年11月3日(木) 15:00~(1回目) 17:00~(2回目)

場所：JR京都伊勢丹2F

内容：「京都吉兆」流の美味しいご飯の炊き方トークショー

(講演：京丹後市専門委員 「京都吉兆」総料理長、徳岡邦夫氏)

丹後産コシヒカリの新米「有機JAS米」試食会

JR京都伊勢丹の地下2F食品売場にて限定販売(2kg入り150袋)

(安心・安全・美味しいお米に付加価値を付けて試験販売)

■水稻有機栽培実証事業「トライアル農地」報告会(予定)

日時：平成24年2月頃

場所：アグリセンター大宮

参加者：農家・一般市民の消費者等

内容：平成21年度~平成23年度までの3ヶ年で行った実証事業の成果と課題を報告。水稻有機栽培技術の「課題とポイント」を栽培こよみで整理して報告するとともに収穫したお米に付加価値を付けてJR京都伊勢丹で試験販売した成果を報告。

※トライアル農地のこれまでの取り組み経過は、下記アドレスからご覧いただけます。



<http://www.city.kyotango.lg.jp/kurashi/sangyo/nogyo/trial-farmland/index.html>

問い合わせ先

京丹後市 農林水産環境部 農政課 企画調整係

電話番号 0772-69-0410 FAX 番号 0772-64-5660

E-Mail : nosei@city.kyotango.lg.jp